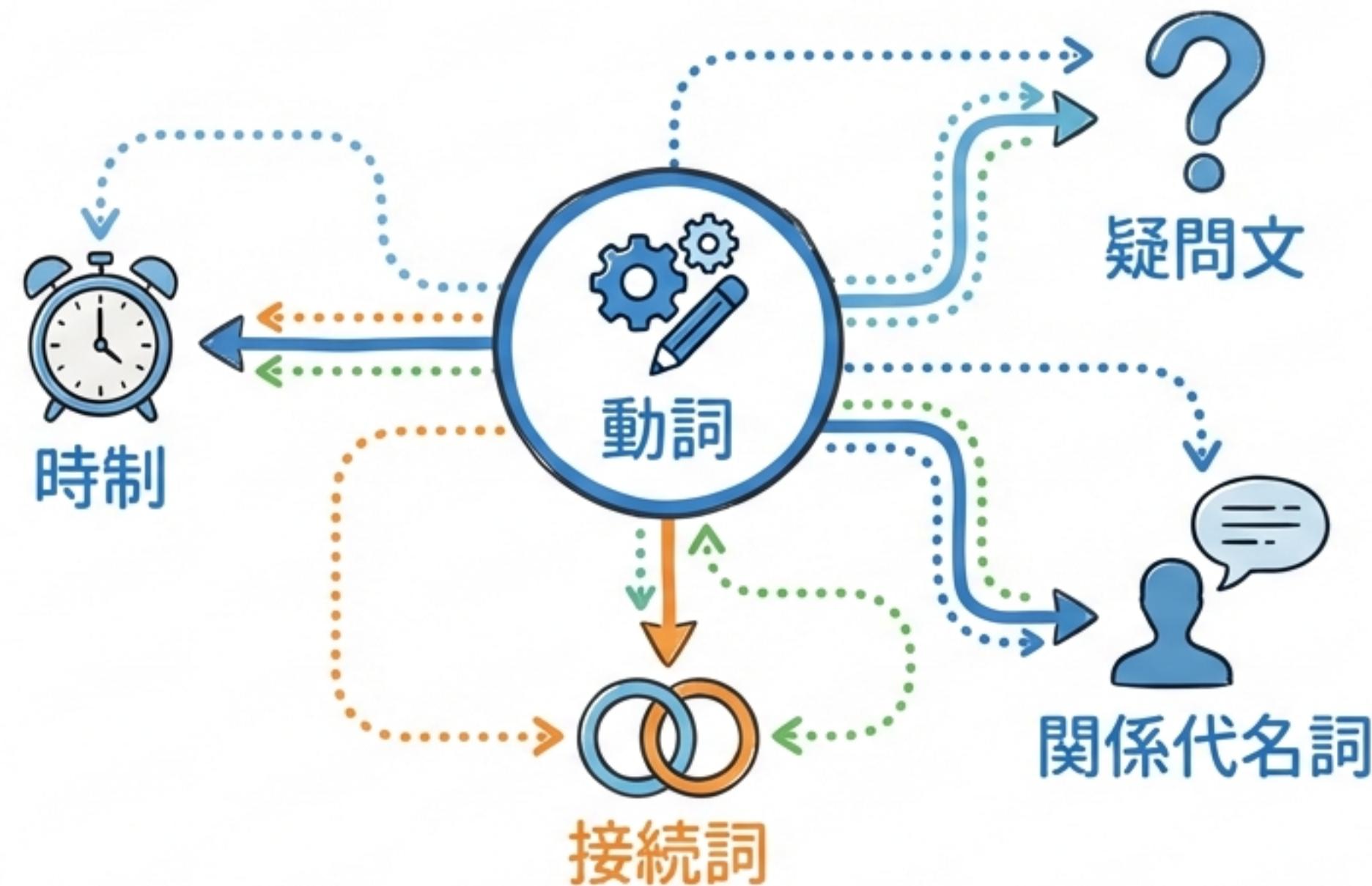


# 英語の文法地図：中学3年間の全ポイント総復習



# 文の心臓部！動詞は2種類だけ

be動詞は  
動きがなくて  
状態を伝える

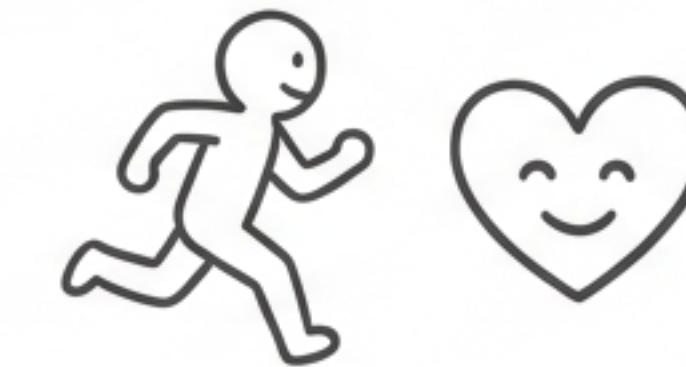


=

am, are, is の3つ。「～です」  
「～にいる/ある」と訳す。

I **am** a student.  
He **is** in the park.

一般動詞は  
行動や気持ちを  
そのまま表す

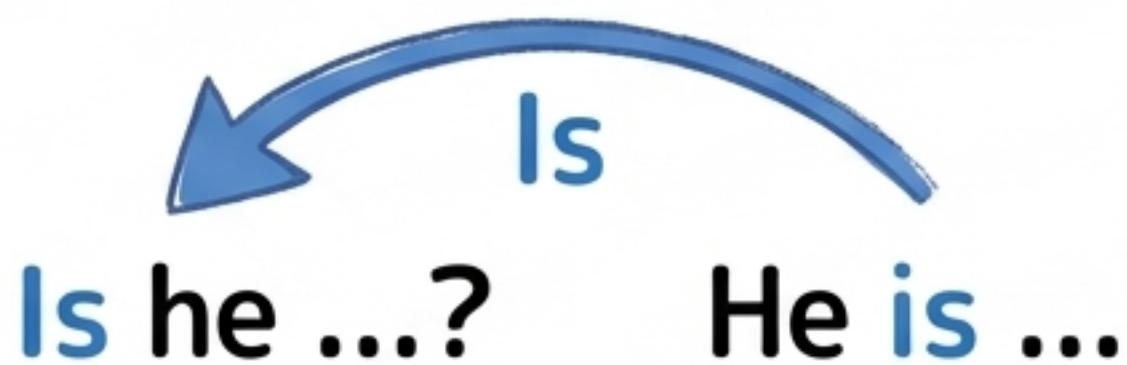


play, study, eatなど、be動詞以外  
の全ての動作や状態を表す動詞。

I **play** tennis.  
She **likes** music.

# 疑問文と否定文の作り方

be動詞は、beを前に出すだけ！



疑問文：主語とbe動詞をひっくり返す。

(Are you ~? / Is he ~?)

答え方：Yes, I am. / No, he isn't.

否定文：be動詞の後に not を置く。

(I am not / He is not [isn't])

一般動詞は、Do/Does がお助け！



疑問文：文頭にDoを置き、動詞は原形に

する。(Do you ~?)

答え方：Yes, I do. / No, I don't.

否定文：動詞の前に don't を置く。

(I do not [don't] play tennis.)

# 最重要ルール！三人称・单数・現在の「s」

三人称单数現在形は 三人称・单数の主語に動詞のsがつく

主語が I, You 以外の单数 (He, She, It, Tom, My motherなど)  
の時、現在形の動詞に s か es をつける。

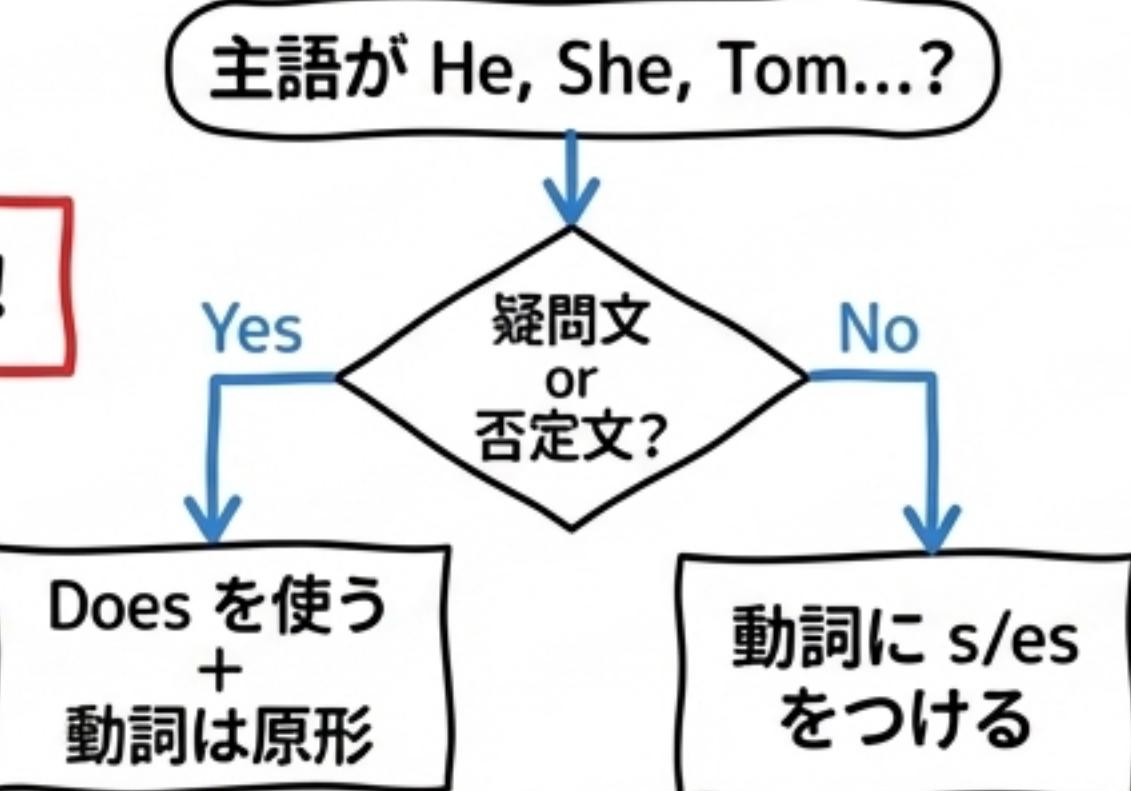
Special Cases  
have → has  
study → studies  
watch → watches

疑問文と否定文では “Does” が登場

Does が「s」の役目を引き受けるので、動詞は原形に戻る！

Does he play soccer? NOT plays

He doesn't play soccer. NOT doesn't plays



# もっと詳しく聞きたい！「疑問詞」の使い方

疑問詞の疑問文は 内容や人を具体的にたずねる。  
いつでも 【文の先頭】 に置くのがルール！



What (何)



Who (誰)



Where (どこ)



Hoy (いつ)



When (いつ)



Why (なぜ)



How (どのように/どれくらい)

疑問詞

+ be動詞 / Do / Does

主語

+ 動詞の原形...?

Where do you live?

What is this?

# 主語がない文？ 命令文と誘う文

命令文は 動詞で始めて 相手に指令やお願ひをする  
主語を省略し 動詞の原形で始める。「～しなさい」



## Variations

丁寧にお願い：Please をつける (Please open the door.)

禁止：Don't で始める (Don't run.)

be動詞の場合：Be quiet.

Let'sの文は 一緒にしようと 相手を誘う

Let's + 動詞の原形。「～しましょう」



書き換え: Let's ~ = Shall we ~?

Let's play soccer.

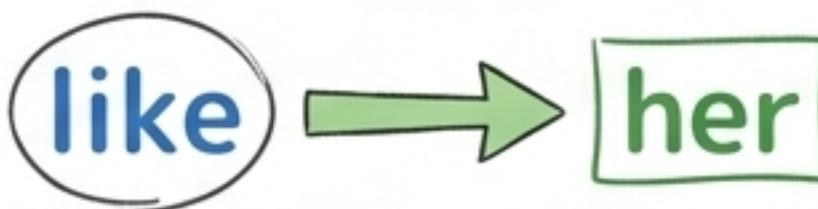
Yes, let's. ✓  
No, let's not. ✗



# 「誰に?」「どれ?」を指示する代名詞

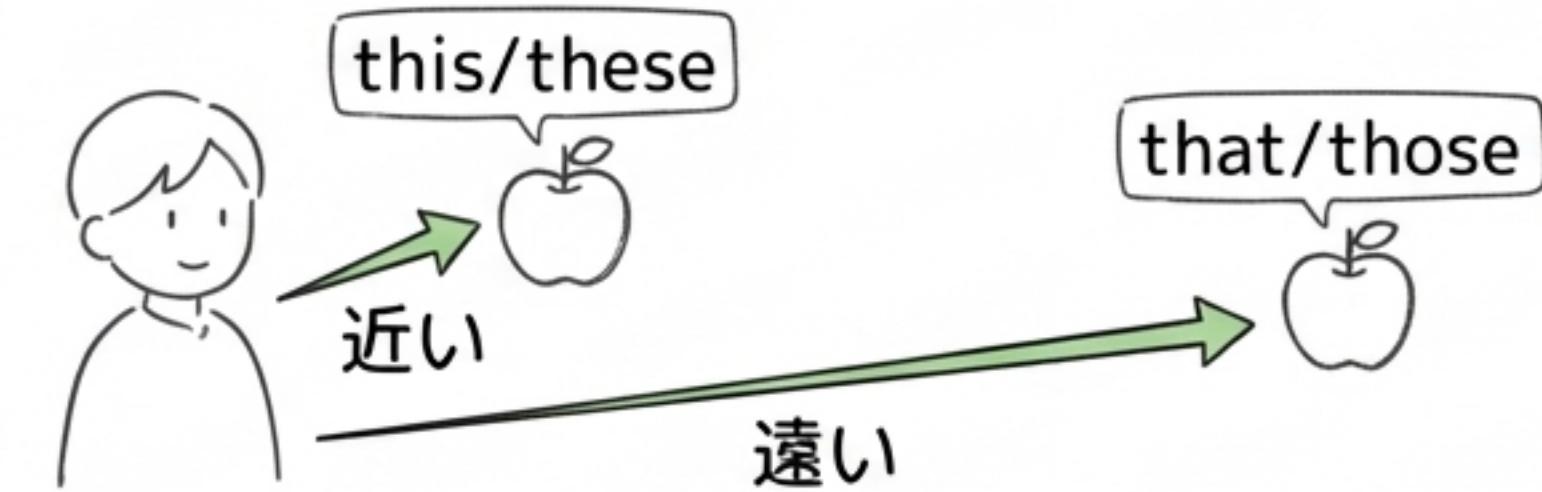
人称代名詞の目的格は  
動作の対象として  
矢印を受ける

「～を」「～に」にあたる形。



主格（～は）	目的格（～を/に）
I	me
we	us
you	you
he	him
she	her
it	it
they	them

指示代名詞は  
近い物と遠い物を  
はっきり分ける



	単数（1つ）	複数（2つ以上）
近い	this (これ)	these (これら)
遠い	that (あれ)	those (あれら)

# 動詞に気持ちをプラス！助動詞

**助動詞**は 気持ちや意志を動詞に添える。

「～できる」「～だろう」「～しなければ」など、  
事実だけでなく話し手の「気持ち」を動詞にプラスします。

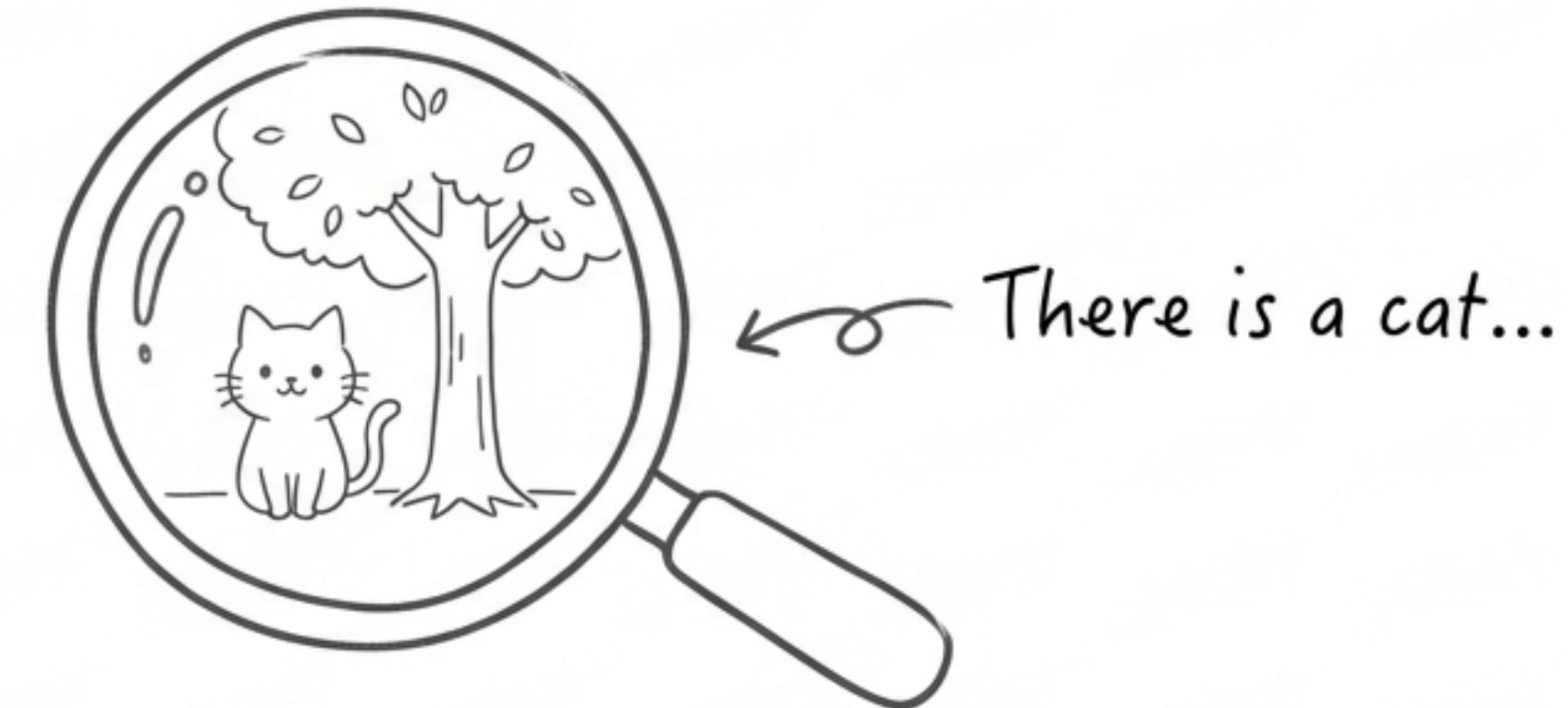


# 助動詞の後ろは【動詞の原形】

- **can**: I **can play** the piano. (能力・可能性)
  - **will**: I **will call** you tonight. (未来の意志)
  - **must**: You **must finish** your homework. (義務)

# 「～あります/います」存在を表す There is / There are

There isは  
そこに存在する物を  
知らせるための特別な文。



Rule 1: There is + 単数名詞

Example: There is a book on the desk.

Rule 2: There are + 複数名詞

Example: There are three cats under the tree.

場所を表す言葉が文末に来ることが多い。

Question Form: Is there a pen? / Are there any pens?



# 「時」を操る①：過去の出来事を語る（過去形）

その時の状態を  
過去の形で伝える

am / is → was

are → were

「～でした」 「～にいた」

Negative: wasn't / weren't

I was busy yesterday.

過去に起こった出来事を  
語る

- 規則動詞: 動詞の最後に ed をつける  
(played, studied)
- 不規則動詞: 形が大きく変わる！  
(go→went, eat→ate, buy→bought)



過去形でもお助け役 Did が登場！  
動詞は原形に戻る。

Example: Did you go to the park?

Example: I didn't see him.

# 「時」を操る②：動作の真っ最中！（進行形）

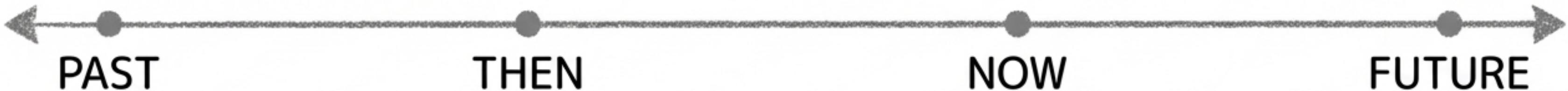
今している最中の  
動きを表す

be動詞 (am/is/are) + 動詞のing形

「～しているところです」

Spelling Rules:  
making, running,  
swimming

He is studying English now.



その時していた動作を 映像のように映す

be動詞の過去形 (was/were) + 動詞のing形

「(その時) ~していました」

- Then (その時), at that time

I was taking a shower when you called.

## 「時」を操る③：未来のこと說話（未来表現）

未来を表す方法は主に2つ。気持ちや状況で使い分ける！

will + 原形



その場で決めた意志・予測  
「～するよ！」 「～だろうなあ」

It's cold. I **will close** the window.

be going to + 原形



前々から決めていた予定  
「～する予定です」

I **am going to** visit my grandmother this weekend.

# 「時」を操る④：過去と今をつなぐ（現在完了形・基本）



- ・肯定文：主語 + have/has + 過去分詞
- ・疑問文：Have/Has + 主語 + 過去分詞 ...?
- ・否定文：主語 + haven't/hasn't + 過去分詞

「いつ～したか」をハッキリ言う過去形とは違う！「今、～しちゃったところだ」  
「今までに～したことがある」という「今」の気持ちが大事。

# 現在完了形の3つの顔：経験・完了・継続

## 経験 (Experience)

したことがある  
記憶を語る。  
「～したことがある」



### Keywords:

ever (今までに)  
never (一度も～ない)  
once (一回)  
before (以前に)

Have you ever  
been to Kyoto?

## 完了 (Completion)

ちょうど今  
終わったこと。  
「～してしまった」  
「ちょうど～したところだ」



### Keywords:

just (ちょうど)  
already (すでに)  
yet (疑問文:もう/否定文:まだ)

I have just finished  
my homework.

## 継続 (Continuation)

ずっと続いている  
状態を表す。  
「ずっと～している」



### Keywords:

for (~の間)  
since (~以来)  
How long...?

We have lived here  
for ten years.

# 「時」を操る⑤：今もずっと続いている動作（現在完了進行形）

現在完了進行形は ずっとし続けてきた流れをそのまま表す。

**have/has + been + 動詞のing形**

現在完了の「継続」用法（ずっと～している）と、進行形の「動作の真っ最中」の気持ちが合体したもの。「（動作を）ずっと～し続けている」という、より生き生きとした表現になる。

## Comparison

現在完了（継続）：

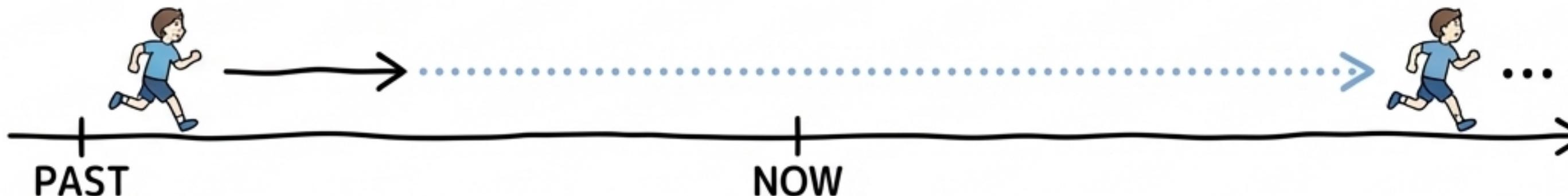
I have lived in Tokyo for 3 years.

（状態の継続）

現在完了進行形：

I have been studying for 3 hours.

（動作の継続）



# 動詞の変身①：「～すること」名詞になる（不定詞 vs 動名詞）

## 不定詞の名詞的用法

不定詞の名詞的用法は  
動詞を名詞に変える

to + 動詞の原形

Nuance

➡ これからすること、未来のこと

Verbs to Remember

want to ~, hope to ~, try to ~, start to ~

I want to play video games.

## 動名詞

動名詞は 行為そのものを  
名詞に変える

動詞のing形

Nuance

✓ いつものこと、事実

Verbs to Remember

enjoy ~ing, finish ~ing, stop ~ing

I enjoy playing video games.

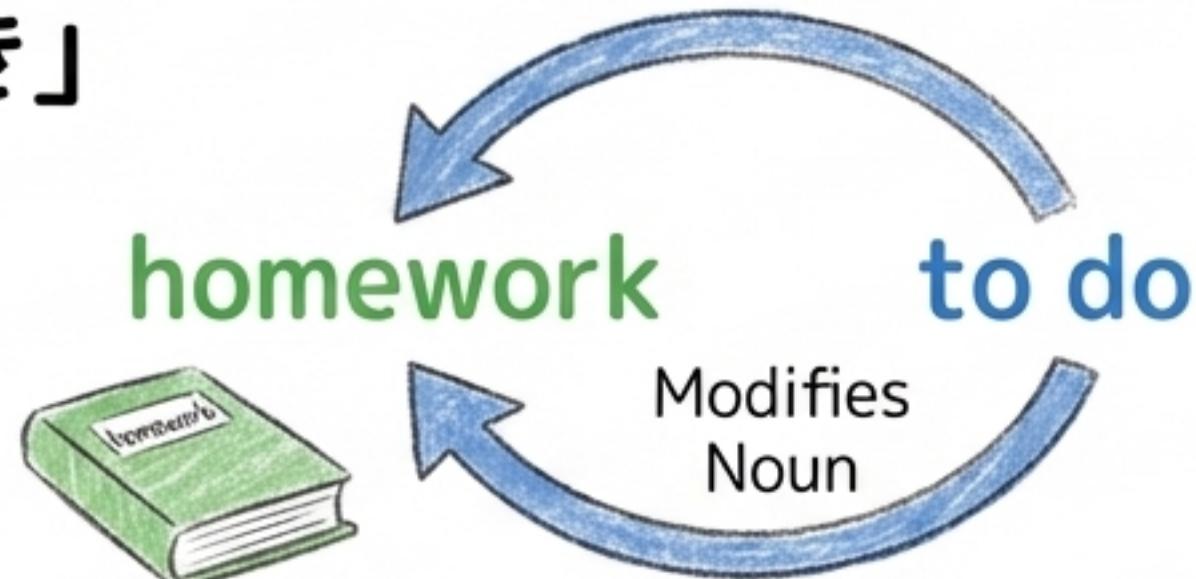
後ろにどちらの形をとるかは、前の動詞によって決まる！

## 動詞の変身②：名詞を飾ったり、理由を説明したり（不定詞の形容詞的・副詞的用法）

### 名詞を説明する「～するための / ～すべき」

名詞 + to + 原形

- something to drink (何か飲み物)
- homework to do (すべき宿題)



### 理由や目的を補う「～するために」 「～して」



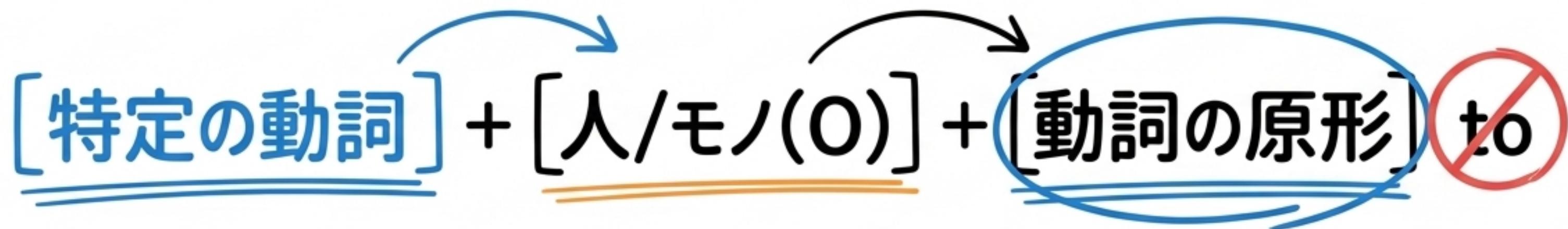
The infinitive phrase explains the "why" of the main clause.

目的: I went to the park to play soccer. (サッカーをするために)

感情の原因: I am glad to see you. (あなたに会えてうれしい)

# 動詞の変身③：to が消える！？原形不定詞

原形不定詞は toを使わずに 直接動作を助ける特別な形。特定の動詞の後ろで使われる。



## 使役動詞 (Causative Verbs)

- make + O + 原形: (Oに～させる)
  - My mother made me clean my room.
- let + O + 原形: (Oに～させてあげる)
  - Let me know.
- have + O + 原形: (Oに～してもらう)

## 知覚動詞 (Verbs of Perception)

- see + O + 原形: (Oが～するのを見る)
  - I saw him cross the street.
- hear + O + 原形: (Oが～するのを聞く)

## 手伝う (Help)

- help + O + to 原形:
    - (Oが～するのを手伝う)
- `to` はあってもなくても OK!

# 文と文をつなぐ接着剤！接続詞

## 時 (Time)

When: 「～する時」

While: 「～している間に」

(進行形とセットで使うことが多い)

## 理由 (Reason) ?

Because: 「～なので」

(Why...? の答えになる)



## 条件 (Condition)

If: 「もし～なら」

## 内容 (Content)

that: 「～ということ」

(think that~, know that~  
の that は省略可能)

When, If, While, Because などが導くカタマリは、  
文の頭にも途中にも置ける。

# 名詞を後ろから詳しく説明！分詞の後置修飾

「～している」と、名詞を後ろから説明する

**名詞 + ing のカタマリ**

The noun is **doing** the action.



Do you know the boy running over there?  
(あそこを走っている少年)

「～された」と、名詞を後ろから説明する

**名詞 + 過去分詞のカタマリ**

The action was **done to** the noun.

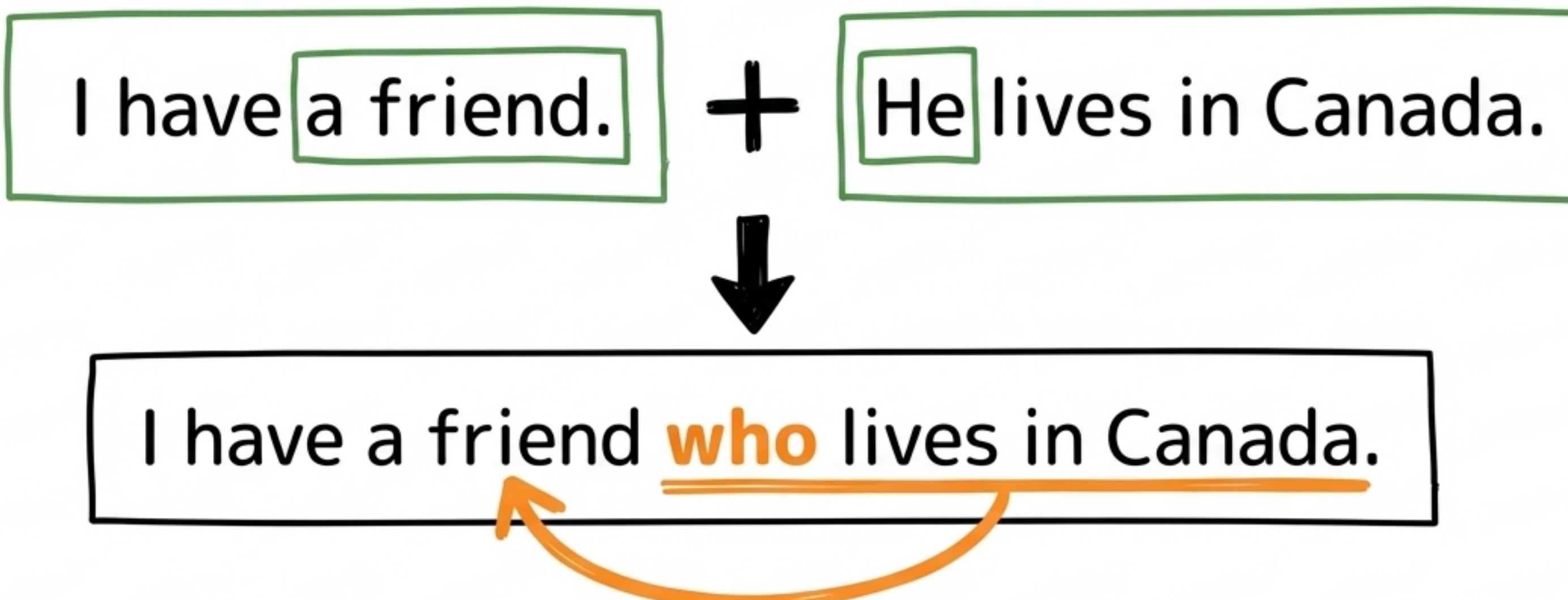


This is a letter written in English.  
(英語で書かれた手紙)

Famous Example: a car made in Japan

# 文で名詞を説明する！関係代名詞 [基本]

2つの文を1つにして、前の名詞（先行詞）を詳しく説明するためのもの。



- 説明する名詞が人の場合 → **who**
- 説明する名詞がモノ・動物の場合 → **which**
- どちらでもOKな万能選手 → **that**

# 関係代名詞の使い分け：主格・所有格・目的格

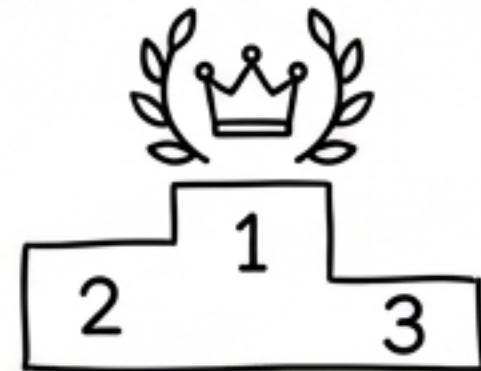
格（働き）	説明する名詞が「人」	説明する名詞が「モノ」	特徴
主格（～が）	who	which	直後に動詞が来る
所有格（～の）	whose	whose	直後に名詞が来る
目的格（～を/に）	whom / who	which	直後に「主語+動詞」が来る。 省略されることが多い！

主格: The man **who** is standing there is my father.

所有格: I know a girl **whose** father is a doctor.

目的格: This is the book **(which)** I read yesterday.

# 2つを比べる、1番を決める！比較の表現



比較級（2つを比べる）

二つを比べて

差をつける「～より…」

形容詞/副詞 + [-er + than [~]  
more + 形容詞/副詞 + than [~]

He is taller than me.

最上級（3つ以上で比べる）

三つ以上で

一番を示す「～の中で一番…」

the + 形容詞/副詞 + [-est]  
the + most + 形容詞/副詞

in (場所・範囲) / of / (数・all)

He is the tallest → in his class.

as ~ as (同じくらい)

二つが同じ

程度だと表す「～と同じくらい…」

as + 形容詞/副詞の原級 + as

I am [as tall] as you.

Negative: not as [~] as [... (…ほど～ではない)]

Irregular Forms : [good/well] → [better] → [best]

# 英語らしい語順！第4文型(SVOO)と第5文型(SVOC)

人に物を渡す形をとる「SVOO」

主語(S) + 動詞(V) + 人(O) + 物(O)

「人に物を～する」

give, show, teach, tell, buy, make

↪ 書き換え

- `give` type → 「物 to 人」
- `buy` type → 「物 for 人」

目的語の状態を説明する「SVOC」

主語(S) + 動詞(V) + 目的語(O) + 補語(C)

「OをCにする/と呼ぶ」。

【O = C】の関係が成り立つ！

call A B, name A B,  
make A B, keep A B

They call him Ken.

him ≡ Ken

# 視点を変える！「～される」を表す受動態

受動態は、受けける側が主語になり「～される」を表す文。



A hits B.



B is hit by A.

## be動詞 + 過去分詞

行為者: by ~ で表す。

English is spoken by many people.

### よく出る連語

- be interested in ~  
(～に興味がある)
- be made of / from ~  
(～で作られている)
- be known to ~  
(～に知られている)
- be born (生まれる)

# 現実とは違う世界を語る：仮定法

現実とは違う世界を  
想像して語る

仮定法過去

叶わない願いを  
静かに述べる

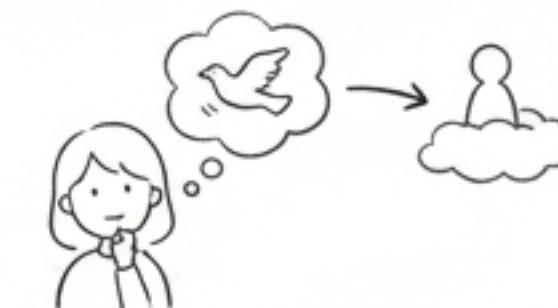
I wish

If + 主語 + 過去形, 主語 + would/could + 原形

「もし(今)～なら、(今)…だろうに」。  
現在の事実と反対のことを言う。

be動詞は主語に関わらず  
were を使うのが基本！

If I were a bird,  
I could fly to you.



I wish + 主語 + 過去形

「(今)～であればいいのになあ」。  
実現可能性が低い願い。

I wish I had more time.



# マスターしたい！その他の重要構文

## It is ... for ... to ~

長い主語を後ろに回す。  
「(人)にとって～することは…だ」

It is important for us to study English.

## 間接疑問文 (Indirect Questions)

疑問の内容そのものを文の中に入れる。

☆ 語順が【疑問詞 + 主語 + 動詞】になるのが最重要ポイント！

I don't know what he likes.

## too ... to ~

↓ 「～すぎてできない」限界を言う。  
「あまりに～なので…できない」  
→ 書き換え：so ~ that ... can't

I am too busy to help you.

## 附加疑問文 & 感嘆文

- 附加疑問文：文の最後で念を押す。  
「～ですよね？」(It's a nice day, isn't it?)?
- 感嘆文：驚きや感動を強く叫ぶ。  
(What a beautiful picture! / How beautiful this picture is!)\*